

先進自治体視察結果

視察先	取組概要	排出量等
秋田市 (5/11) 人口(H25) 320,909人	<p>【ごみ有料化(家庭系)】</p> <ul style="list-style-type: none"> 平成22年度までに基準年と比較し、家庭系ごみを10%以上削減することを目標とし、様々な施策を展開したが達成できず、平成24年7月より家庭系ごみ有料化を導入。有料化翌年に目標を達成。 有料化にあたっては、市民に対して説明会(58回)や意見徴収を実施。 有料化による減量効果は<u>家庭系7~8%程度。(101円)</u> 	<p>【1人1日あたり】</p> <p>685g(家庭) 399g(事業) 1,084g(合計)</p> <p>【リサイクル率】 25.4%</p>
八戸市 (5/21) 人口(H25) 239,040人	<p>【ごみ有料化(家庭系)】</p> <ul style="list-style-type: none"> ごみの減量化・資源物の分別促進、ごみ処理経費の公平負担の観点から、指定ごみ袋に手数料を上乗せする形で、平成13年6月より家庭系ごみの有料化導入。対象は「燃やせるごみ」「燃やせないごみ」「粗大ごみ」。 有料化による減量効果は<u>家庭系7~8%程度。(100.66円)</u> <p>【搬入規制(事業系)】</p> <ul style="list-style-type: none"> 平成20年4月から「古紙類」の搬入規制を実施。年間5千~6千トン(1人1日約60g)程度の古紙類が焼却からリサイクルに移行。 	<p>【1人1日あたり】</p> <p>669g(家庭) 349g(事業) 1,018g(合計)</p> <p>【リサイクル率】 14.1%</p>
山形市 (5/22) 人口(H25) 250,532人	<p>【ごみ有料化(家庭系)】</p> <ul style="list-style-type: none"> 平成29年度までに基準年(平成18年)と比較し、家庭系ごみを17%削減し、570g以下とする目標を掲げ、平成19年より有効な施策として検討を開始し、平成22年7月に家庭系ごみ有料化を導入。 <p>【その他】</p> <ul style="list-style-type: none"> 再生資源運動が盛んで、年間約12,000tの資源を回収している。(弘前市の約10倍) 	<p>【1人1日あたり】</p> <p>721g(家庭) 271g(事業) 992g(合計)</p> <p>【リサイクル率】 19.8%</p>
生駒市 (10/14) 人口(H25) 121,185人	<p>【ごみ有料化(家庭系)】</p> <ul style="list-style-type: none"> H22年の市長選挙時の公約に「有料化によるご減量」があり、その後計画の見直しを行い、H23年に「ごみ半減プラン」を策定。その後、市民レベルで検討し、様々な施策に取り組んできたが、燃えるごみ半減には至らず、平成27年4月より家庭系ごみ有料化導入。 有料化による減量効果は<u>家庭系10%程度(101円)</u>。 	<p>【1人1日あたり】</p> <p>688g(家庭) 189g(事業) 876g(合計)</p> <p>【リサイクル率】 18.8%</p>
高槻市 (10/15) 人口(H25) 356,693人	<p>【搬入規制(事業系)】</p> <ul style="list-style-type: none"> 産業廃棄物、処理困難物、市外ごみの搬入禁止等を目的。 不適正排出が確認された場合、1~2回目の違反は継続監視、3回目以降は許可業者経由での事業者指導を実施。それでも適正化されない場合、許可業者経由での指導依頼書の発行や市直接指導及び報告書の回収を実施。 搬入規制による減量効果は、<u>事業系ごみ搬入量が40%減少</u>。 	<p>【1人1日あたり】</p> <p>639g(家庭) 286g(事業) 925g(合計)</p> <p>【リサイクル率】 13.2%</p>

<p>鎌倉市 (10/30)</p> <p>人口 (H25) 177,759 人</p>	<p>【ごみ有料化 (家庭系)】</p> <ul style="list-style-type: none"> 一部の焼却施設の老朽化により、ごみ減量の必要が生じ、平成 27 年 4 月 1 日より家庭系ごみ有料化導入。 <p>【搬入規制 (事業系)】</p> <ul style="list-style-type: none"> ごみ処理施設での資源物 (段ボール、紙類等) の受け入れ制限や多量排出事業者対策、収集運搬許可業者への指導を実施。 <p>【その他】</p> <ul style="list-style-type: none"> 剪定材は民間事業者に委託し、全量リサイクルしている。 (弘前市での可能性を検討) 	<p>【1 人 1 日あたり】</p> <p>752 g (家庭) 265 g (事業) 1,017 g (合計)</p> <p>【リサイクル率】</p> <p>48.8%</p>
--	--	--